

平成29年度「弘前市市民参加型まちづくり1%システム」採択事業一覧

単位(円)

事業名		団体名	事業内容	応募額	採択金額	交付決定額	確定額
一次	1. 市民健康増進事業「第6回津軽岩木スカイラインを歩いてみよう会」	弘前歩こう会	弘前市及び岩木山の魅力を全国に発信することと、市民の健康増進と親睦交流を図ることを目的に、「津軽岩木スカイライン」をゆっくりと自分のペースで歩く健康増進事業を実施する。参加者には、ウォーキングの素請らしさと岩木山からの絶景や紅葉の素請らしさを体感していただく。	490,000	490,000	490,000	490,000
一次	2. 青少年健全育成・地域づくり・地域世代間交流事業「第4回 津軽の伝統文化と昔の遊びに触れてみよう」	時敏地区青少年育成委員会	子どもたちが来いつつある日本の伝統的文化と昔の遊びに親しむ機会を創出し、時敏地区内の子どもたちと高齢者がふれあうことで世代間交流を図ると共に、地域の大人が協力して地域の子どもの健全な成長を培うことに對する理解につなげる。さらに、4回目となる今回は、地区内の歴史・文化を学ぶ講座を新たに開催し、時敏地区の伝統文化と文化遺産のさらなる理解と保存継承の大切さを地区の子どもたちに伝える。	369,000	369,000	369,000	369,000
一次	3. 津軽カタリスト 太宰治ドラマリーディング定期公演事業	津軽カタリスト	「弘前は太宰治研究の街である」ことのPRを目的に、太宰治の作品をアレンジして、ドラマリーディング形式で公演する。各定期公演では、作品が書かれた時期ごとに特集を組んだり、季節性のある作品を取り入れるほか、桜桃忌に合わせて行う記念公演では、太宰短編集を代表する不朽の名作をお届けする。	460,000	460,000	460,000	460,000
一次	4. 文化振興事業「第1回 大森勝山遺跡と世界遺産登録を学ぼう会」	弘前縄文の会	「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録の意義や登録後の活動について広く市民に認識頂くとともに、登録候補遺跡群の一つである大森勝山遺跡などの価値について再認識頂き、地域・観光資源としての活用につなげていくための研修会などを開催する。子ども達には、大森勝山などで生活した縄文人やその文化が、いかに世界的価値の高い文化であったのか正しく理解するための場を提供していく。	451,000	451,000	451,000	451,000
一次	5. 小学校体育支援事業「運動大好きプロジェクト」	特定非営利活動法人 スポネット弘前	少子化によるスポーツ少年団の加入数の減少や部活の停滞によって、子どもたちのスポーツ実施率が低下していることから、学校の教員と専門の指導者が連携することで体育の授業の充実を図る。子どもたちが楽しみながら体育の授業に打ち込める環境を作ることで、運動を好きになってもらい、また、運動する習慣が根付いていくことで、健康増進や精神面の安定、健全育成に寄与する。	500,000	500,000	500,000	419,000
一次	6. 過疎地域スポーツ推進事業「スポーツゲンキッズ教室」	特定非営利活動法人 スポネット弘前	少子化の影響により、学校に部活動やスポーツ少年団もなく、運動をする環境が十分でない地域の小学生のために、地域に出向いて定期的なスポーツ教室を開催する。近隣の小学校に子どもたちを集めて運動することで、他校の生徒との交流を通して子どもたち自身のコミュニケーション能力の向上を目指し、スポーツに親しむことを通じて地域全体を巻き込んだ形で地域活性化を図る。	500,000	500,000	500,000	500,000
一次	7. 小沢ほたる観賞会	小沢小学校父母と教師の会	昨年度県の事業で誕生した「ほたる池」を広く地域住民に知ってもらい、今後ほたる池を有効活用し、保全していくことに地域一丸で取り組んでいく気持ちを醸成するために、オープニングセレモニーを開催する。ほたるの観賞会を通して地域の交流を深め、また虫を見る機会が減った子どもたちの健全育成を目指す。	128,000	128,000	128,000	124,000
一次	8. 弘前さくらコンサート Vol.3	Rainbow Muse Hiroasaki	市民に質の高い音楽に触れてもらえる機会を創出するため、子どもから大人までのピアノ演奏だけでなく、ジャズ演奏、ジャズと鍵盤ハーモニカの共演等、さまざまな音楽を交えたコンサートを開催する。このコンサートを機に、来場者も出演者も、生涯教育としても音楽に触れてもらえるように、ピアノのソロ・デュオ・アンサンブルといった幅広い音楽の楽しみ方を知ってもらおう。	500,000	500,000	500,000	500,000
一次	9. 弘前暮らしの保健室	弘前暮らしの保健室	介護の仕方や病気になった時の対処の仕方、施設のことや薬の飲み方など、日々の生活の中で生じるちょっとした悩み事を相談できる場所をつくるため、清水交流センターで暮らしの保健室を開催する。薬や介護についてミニ講座や調理実習のほか、介護ロボの体験などを通して、参加した人同士も気軽に相談し合える場を創出する。	235,000	235,000	235,000	111,000
一次	10. 常盤野町会コミュニティ醸成推進事業	常盤野町会	地域住民のコミュニティ醸成のため、年間4回の地域交流会を開催する。小中学校と連携した交流会も開催することで、地域住民の世代間交流を図るとともに、毎戸の防災対策点検や、AED講習会などを実施することで、災害時における自助、共助へつなげる。	310,000	310,000	310,000	289,000
一次	11. イキイキ健康クラブスマイル	イキイキ健康クラブスマイル	毎週木曜日に高齢者を対象とした健康体操と、日頃の悩みや生活に役立つ情報交換の場を提供するほか、年間行事として、弘前に関する教養講座や美術鑑賞などを実施する。定期的に体験することや文化的な活動を行うことで、心と体の両面からアプローチし、明るく健康で、生き生きとした生活を送る高齢者を増やしていく。	76,000	76,000	76,000	76,000
一次	12. 大仏公園あじさいまつり	石川町会	町会内にある大仏公園と、公園内に咲く紫陽花を広く市民に知ってもらうため、「紫陽花まつり」を開催する。公園内の各所にクイズポイントを設置したり、俳句や川柳の投函してもらい、公園内に展示するほか、イベント日には、紙ひこうき大会や祭りを盛り上げるためのジャズ演奏・子どもたちによるパフォーマンスを行うことで、より多くの市民が大仏公園に足を運んでもらう。	486,000	486,000	486,000	483,000
一次	13. 中心6商店街 接客英会話無料セミナー・観光ボランティア 事業	弘前市英会話サークル Globish	「国際都市弘前」への一助とするため、外国人観光客へのおもてなしを目的として観光英語ボランティアセミナー、接客英会話セミナーを実施する。観光英語ボランティアセミナー後は、実際に4大祭りでのボランティア活動を行い、接客英会話セミナーでは接客に必要な基本的な英会話や、飲食店における英語メニューの作成方法を学ぶことで、外国人に対するおもてなしができる。	243,000	243,000	243,000	240,000
一次	14. いわなのつかみ取り体験	特定非営利活動法人 藤代地域ふれあいの会	子どもの頃の体験がその後の人生に影響を与えと言われていことから、地域の子どものうちさまざまな体験を重ねて成長してもらうという健全育成を目的に、いわなのつかみどり体験を行う。また、体験の場を通して、地域の多世代交流を図り、親睦を深めてもらう。	337,000	337,000	337,000	228,000
一次	15. ～和徳の歴史の探求と伝統ある津軽の歴史の魅力発信事業～題「けの汁発祥の地和徳城」和徳城主 小山内讃岐の守没後446年祭	和徳歴史探偵団	和徳町の地域には、むかし、和徳城があったことや、その城主である小山内讃岐守が大浦藩信によって落城された歴史を持ち、落城前に兵士たちが食べた「けの汁」の発祥の地とされていることを、次代を担う子どもたちに伝えるながら、和徳の活性化につなげるため、郷土料理でもある「けの汁」コンテストを開催する。また、和徳の歴史を掲載した歴史マップや冊子の作成と歴史講座を開催することで、地域住民に対する歴史の伝承を図る。	500,000	500,000	500,000	500,000
一次	16. ハルシーエイジング	ハルシーエイジング	高齢になると、若い時のように日常生活を送ることが困難になるため、高齢者自身が高齢者の目線で、これらの課題と向き合うため、同じ課題意識を共有する仲間と共に、運動・健康講話・写経などの講座を行う。生活習慣病や骨格筋の衰退による転倒及び歩行不能の予防など、現在の健康状態の維持に努め、残りの人生を心豊かに過ごすことを目指す。	317,000	317,000	317,000	317,000

一次	17.	第6回こぎんフェス	こぎんフェス実行委員会	津軽地方に古くから伝わる「こぎん刺し」文化を発信し、観光客に知ってもらうことや、市民が弘前・津軽への誇りや愛着を醸成することを目的に、さくらまつり期間内に「こぎんフェス」を開催する。ワークショップやこぎん刺しの歴史や背景がわかるパネル展示、こぎんと南部製刺しについての「刺し子シンポジウム」、こぎんマップの作成等を行うことで、こぎん刺しへの理解や関心をさらに深めてもらうきっかけを作る。	500,000	500,000	500,000	500,000
一次	18.	乳井区域内放棄地の環境整備と美化活動	乳井町おこし協力会	乳井町区内で放棄され崩壊寸前だった史跡である茶臼籠の沿道改修や、ホタルが集まるため池の泥上げなどの整備を行う。地域住民の参加を図りながら、茶臼籠からの絶景を見る会やホタルの鑑賞会、歴史勉強会を実施することで、地域の良さを再認識してもらい、愛着を高めていく。さらに地域内の歴史巡回小径の整備を進めるほか、古井戸の整備等を実施する。	420,000	420,000	420,000	370,000
一次	19.	第1回公演 ミュージカル「THE SOUND OF MUSIC」	弘前子ども・おとなミュージカルクラブ	参加者を広く公募し、9か月間の練習を通して、手話、英語、踊り、津軽弁を駆使したミュージカルの公演を行う。参加者には、体の動きや声を使った表現方法を学び、家族で舞台芸術を楽しむきっかけとしていただく。また、観覧者には子どもたちの上演する姿を見ていただくほか、みんなで歌う時間を設けることで、会場一体となる舞台を作り上げる。	444,000	444,000	444,000	397,000
一次	20.	「第3回 日本・台湾友好音楽祭」	弘前市民俗芸能保存連合会	台湾月琴の魅力や台湾文化を身近に感じていただくこと、伝統音楽を通じて素晴らしい国際交流が育める感動を共有することを目的に、台湾の伝統楽器である月琴と津軽三味線をメインとした音楽祭を開催する。三味線以外の伝統芸能も取り入れることや、ねぶたまつり等での宣伝を行うことで、多くの市民のみなさんに台湾文化に触れていただく機会とする。	500,000	500,000	500,000	500,000
一次	21.	ラベンダーロード再生事業	相馬地区小・中学校PTA連絡協議会	過去3年間実施してきた事業だが、全部で25区間あるうちの、最後の3区間の花壇にラベンダーを植栽する。植栽を通して、ラベンダーロードの景観を整えるとともに、小中学校の児童生徒や、PTAの保護者、地域の婦人会の参加で地域世代間交流を図る。	178,000	178,000	178,000	145,000
一次	22.	弘前市民の森で元気になろう	弘前市民の森の会	市民の心身の健康向上や不安解消を目的に、自然環境に恵まれた「市民の森」で各種健康法（森林療法、園芸療法、芸術療法）の体験を行う。また、「ストレスと病気」をテーマとした健康セミナー・健康相談や、「グートキーパー」に関するセミナーを開催し、心身の健康について知ってもらう機会を創出する。	237,000	237,000	237,000	192,000
一次	23.	リーディングクラブ「市の城物語」	弘前芸術鑑賞会	津軽為信の津軽統一をテーマにしたドラマリーディングというスタイルの芸術鑑賞の機会を、広く市民に提供する。弘前市の成り立ちとなった「弘前城」を切り口に、「津軽の統一」「弘前城の築城」「弘前藩の歴史」「城下町の完成」といったものを、わかりやすく伝えることで、市民の弘前市の歴史に対する理解と郷土愛が深まることを目指す。	500,000	500,000	500,000	500,000
一次	24.	ワクワク・ときどき?ひろるレクパーク「気軽に体験!楽しい時間・楽しく健康。笑顔の自分を探しに行こう」・楽しく弘前探検「みんなのウォークラリー大会」・レッツひろるレクテ「認知症予防のレクリエーション体験」	特定非営利活動法人ひろさきレクリエーション協会	レクリエーションを通じて、市民の皆さんの楽しみ作り、健康づくりに寄与するため、2本立ての事業を開催する。ウォークラリーでは楽しみながら歩くことで健康づくりに役立て、レッツひろるレクテでは、認知症をテーマに関連するさまざまなレクリエーションを体験していただくことで、自分出来るところから認知症を予防するきっかけとしていただく。	108,000	108,000	108,000	108,000
一次	25.	親子の触れ合い「親子じゃれつき遊び」と子どもの生活習慣・体力・社会性をよくむ「コーディネーションを取り入れた運動遊び」	子育て支援サークル ママズクラブ	子どもの運動の機会と、養育する親の情報交換の場として活用していただくことを目的に、親子で定期的に遊び機会を提供する。子どもたちには運動習慣やチャレンジ精神を身に付けていただくことが出来、また、ポティメンテナスということでお母さんのための教室も設けることで、保護者にもリフレッシュしていただく機会とする。	80,000	80,000	80,000	58,000
一次	26.	HIROSAKI JAZZ STREET 2017	弘前駅前遊歩道賑わい祭実行委員会	弘前駅前公園及び遊歩道の週末の散歩者・通行者が減少していることから、これらの場所を歩いたことがない市民が街歩きをするきっかけを作り出すため、市内外のiAZZバンドを多数招致し、ストリートライブ及びコンサートを開催する。イベントをきっかけに、より多くの市民が弘前の利便性に気づき、遊歩道を活用する人が増加することにより、地域の活性化につなげる。	500,000	500,000	500,000	500,000
一次	27.	岩木山 YOGA FESTIVAL	岩木山YOGA実行委員会	男性が参加しづらい、柔軟性がないとできない、と思われがちなかヨガを気軽に体験してもらうため、ヨガフェスティバルを開催し、ヨガは心身の健康にもつながることを知ってもらう。今年は男性限定のヨガレッスンを開催し、より多くの男性にも参加していただく。また、開催場所である岩木山のことをより知ってもらい、岩木山を自分たちで守ろうという気持ちを醸成させるようなブースなどを設置する。	500,000	500,000	500,000	500,000
一次	28.	イラストでひろさきの街並み再発見!	津軽ひろさきマーチング委員会	弘前に誇りや愛着を持つ人を育み、街の魅力向上へつなげることを目的に、弘前の街並みや建造物のイラストを展示する。展示期間内には講師を招聘してのセミナーも開催する。まずは、イラストの良さを感じていただくことから、市民、企業、官公庁でのイラスト使用へつなげていく。	170,000	170,000	170,000	170,000
一次	29.	おしごと体験広場キッズハローワーク	おしごと体験広場キッズハローワーク実行委員会	子どもたちに、大人になることや働くことが素晴らしいと思ってもらうため、誰もが知っているメジャーな仕事から、地域性の強い仕事まで、社会には様々な仕事があることを体験・体感できるまた、社会の仕組みを感じ取ってもらうことで、職業観の醸成にもつなげる。	500,000	500,000	500,000	500,000
一次	30.	「あのね、知ってる?ここにもフランス」プロジェクト	弘前グローバル・アクション	蓬萊広場でフランス風マルシェを開催し、弘前大学との協定校があるポルドーでの取材や弘前紹介のイベントについての展示を行ったり、フランス語の文化やことばを体験できるワークショップ等を行うことで、異文化発信、国際交流の場を創出する。また、弘前市内でフランスとの関わりがあるお店などを紹介するリーフレットを製作し、まちの人々を通して弘前の魅力を再発見してもらうきっかけをつくる。	481,000	481,000	481,000	407,000
一次	31.	第2回全日本横笛コンクール	津軽笛地域づくり実行委員会	全国トップレベルの笛奏者の演奏を市民が見る機会を作り、6人に1人が笛を吹ける街ひろさきの伝統文化に、今まで以上に興味を持ってもらうため、全国横笛コンクールを実施する。全国で唯一の横笛コンクールを弘前で開催し、課題曲をねぶた囃子にすることで、全国の笛奏者がねぶたを知り、ねぶたに参加してもらうなど、地域交流や来弘のきっかけをつくる。	500,000	500,000	500,000	406,000

二次	32.	十腰内地区お山参詣実施事業	十腰内お山の会	市内でも有数のりんご生産地の十腰内地区で、五穀豊穡を祈願する伝統行事であり、約30年前から行われてきたお山参詣を、引き続き実施する。参加者が減少傾向にあることから、今一度地域に呼びかけ参加者を募り、子どもたちを巻き込むことで更なる地域の活性化につなげる。	478,000	478,000	478,000	468,000
二次	33.	防災・地域づくり・地域世代間交流事業 「第1回 西部仲町 自主防災会 避難訓練事業」	西部仲町 自主防災会	これまで町民全員を対象とした「避難訓練」や「炊き出し訓練」などを一度も実施したことがないことから、昨年、自主防災会を設立したのを機会として、訓練などを行い、避難方法・避難誘導・避難者への対応、炊き出しの仕方・消火器の扱い方などを検証し、今後の活動に役立てる。災害弱者や孤立者を可能な限り、町会内で生じさせないため、町民全員が協力しあい、災害対応に努めていく。	333,000	333,000	333,000	333,000
二次	34.	農園が社交場へ！！	北地区コミュニティ会議	地域住民の手で整備した交流農園を活用し、地域に住む子どもから高齢者までが野菜づくりを行うことによって、地域の連帯感を高める。休憩所をつくり、青空交流場、地域の交流の場として活用してもらう。また、農園において災害時を想定しての野外食をつくり、地域住民の防災意識を高める。	182,000	182,000	182,000	174,000
二次	35.	向外瀬町会 藩政時代へ旅する(パートⅡ) 開村誕生年祭	向外瀬町会	町会行事への参加者が年々減少傾向にあることから、地域住民が同じ方向を向いて同じことに挑戦するため、町会内に保存されている古文書の説明や町内お宝調査、絵馬模写などを実施し、その成果を取りまとめて開村誌を作成する。地域の成り立ちや歴史を知ること、地域に対する愛着を高め、町会行事等への参加意欲を高めることにつなげる。	500,000	500,000	500,000	500,000
二次	36.	十面沢お山の会(お山参詣)	十面沢お山の会	十面沢地区で、五穀豊穡を祈願する伝統行事として行われてきたお山参詣を引き続き実施する。準備段階からお山参詣への参加を地域に呼び掛け、次世代にこの行事を継承していくためにも、子どもたちを巻き込み、親子の練習に参加してもらうなどして町内を活性化させる。	291,000	291,000	291,000	254,000
二次	37.	「第4回弘前城Q&R」開催事業	弘前城Q&R実行委員会	若者の健康増進や、ボランティアとしての社会参加のきっかけづくりのため、本丸を含む弘前公園で、鬼から逃げながらクイズやミッションをクリアしていく「弘前城Q&R」というイベントを開催する。弘前に関係のあるクイズや、弘前の魅力を再発見できるようなミッションを準備することで、弘前市への興味・関心の向上を図る。また、小学生版を開催することで、小さいころの体験によって弘前と運動が好きな若者の成長に寄与する。	500,000	500,000	500,000	346,000
二次	38.	いざ！ 我が町民(市民)を守ろう隊	栄町町会	町会の自主防災会の担当者を主体として、町民を安全に避難誘導するための避難訓練を昨年の課題を踏まえ実施する。また、婦人クラブによる炊き出し訓練も行い、担当者が、それぞれの役割を認識しながら連携することで、参加者が自ら取るべき行動を身に付ける。	155,000	155,000	155,000	154,000
二次	39.	“わ”と“な”の生き生きサークル2	“わ”と“な”の生き生きサークル実行委員会	昨年度のサークル参加者が運営側となり、二大地区会館、清原中央公民館にて、地区の高齢者を対象に体操や体力測定、さまざまなトレーニングを取り入れたサークル活動を行う。地域で開催することによって、気軽に参加していただけるような環境をつくり、各地区に活動を根付かせていく。	71,000	71,000	71,000	69,000
二次	40.	DOG FES IWAKI 2017	DOG FES IWAKI 実行委員会	愛犬と暮らす地域環境を少しでも良くするため、愛犬家と楽しみ、学び場として、DOG FES IWAKI2017を開催する。ドッグランや、しつけ教室などのワークショップ、ミニゲームなどを通して、犬と外で遊ぶために必要な、人と犬との関係性やマナー、しつけについてや、命の大切さを知ってもらう。	500,000	500,000	500,000	500,000
二次	41.	「ひろさき美術館 2」	弘前アートプロジェクト実行委員会	菊と紅葉まつり期間中の旧弘前市立図書館を会場として、現代アート作品の展示と、作家によるワークショップを行う。弘前公園周辺を一体とした弘前の新たな魅力として発信していくとともに、アートを媒体として、たくさんの人に足を運んでもらい、弘前市立図書館ほか、弘前市の建築物の新たな魅力を体感していただく機会とする。	500,000	500,000	500,000	500,000
二次	42.	大沢サマーフェスティバル	大沢サマーフェスティバル実行委員会	これまで実施してきたサマーフェスティバルを引き続き開催し、祭りと同日に、防災訓練(炊き出し訓練や情報収集訓練、救護訓練など)を行う。地域住民が一堂に会し、交流を深め、地域活性化を図ることにより、お互いの顔が見える関係を作り出し、自主防災などの活動にも役立てていく。	341,000	341,000	341,000	341,000
二次	43.	弘前城の何でも歴史名人になろう。	南大町町会	町会の児童や生徒数が減少し、町会の行事に参加する子どもが少なくなってきたことから、世代間で交流を図れる事業として、町会の子どもたちと弘前公園へ行き、弘前城の歴史を学べる場を設ける。子どもたちが成長して郷土を離れても、弘前の良さを他の地域の人にアピールできるような、郷土への誇りを持った人間の育成を図る。	54,000	54,000	54,000	41,000
二次	44.	コミュニティシネマ事業「harappa 映画館」	NPO法人harappa	中心市街地を会場として、県内で上映されることが少ないミニシアター系の映画や、新作のドキュメンタリー映画、弘前出身の監督作品を上映する。上映終了後には、メディアリテラシーを育む取組として、監督や俳優などによるティーチンも併せて行う。中心市街地において映画上映の機会を設けることで、地域との連携を高め、街中の賑わい創出に寄与する。	500,000	500,000	500,000	486,000
二次	45.	CAPを子ども達に届けよう 副題「暴力から自分を守る力を子どもに！」	あおもりCAPの会 中弘南黒地区	教育現場、行政関係者、保護者、地域の大人に、いじめや暴力防止のための1つの方法としてCAPプログラムがあることを知ってもらい、いじめ・暴力防止に対する共通認識を持ってもらうため、公開講座を実施する。講座は、幼稚園・保育園の教職員・保護者・地域の大人、中高の教職員・保護者・地域の大人と、それぞれの立場や発達段階に分けて開催し、それぞれの立場での対応の仕方を学んでもらう。	306,000	306,000	306,000	306,000

二次	46.	狼森町会史発刊	狼森町会	狼森町会には、農村医療が始まった場所というほか、さまざまな歴史があり、その歴史を後世に伝えていくため、歴史や昔の資料をまとめた冊子を作成する。作製後は、各世帯や公共施設に配布するほか、町内の老人クラブと子ども会で勉強会を行い、地域の歴史を学びながら、多世代交流を図る。	500,000	500,000	500,000	500,000
二次	47.	子育てが楽しくなる パパママ楽習会	子育てパパママ楽習会運営委員会	楽しく子育てをするひとつのきっかけとしていただくため、講師を招いて、楽習会を開催し、心理学をベースとした考え方（選択理論）や親子の具体的な関わり方を学ぶ。また、月1回のぶち楽習会を開催し、理論の考え方の基本を学んだり、振り返りや実践してみた結果の共有等を行うほか、子育てに奮闘している同じような境遇のパパママ同士の繋がりを育むことによって、心の安定と欲求充足をサポートし、ことごとくともより良い環境を創造する。	500,000	500,000	500,000	406,000
二次	48.	青森サミット2017	ひろさきナラティブ.net	県内外で活躍している多様な団体による活動報告、基調講演、団体同士の交流時間で構成される青森サミットを開催する。この場での交流を通じ、医療・福祉・介護専門職と、自主団体、地域おこし等の活動をしている団体や個人がお互いを認知し、つながることで、弘前の包括的な地域づくりを目指す。	449,000	449,000	449,000	379,000
二次	49.	「アレッズわくわくパーク」事業	HIROSAKI市民球団プロジェクト 弘前アレッズ	様々な理由で、スポーツをやりたいくてもできない子どもたちのために、アレッズわくわくパークを立ち上げ、「遊びを通して野球を楽しもう」をコンセプトとしてスポーツに触れる機会を提供する。子どものスポーツ環境を改善し、スポーツを通して子どもたちの社会性の育成や、地域交流を図る。	309,000	309,000	309,000	182,000
二次	50.	岩木山エコプロジェクト	岩木山観光協会	岩木山は美しい山であるのに、不法投棄が後を絶たない。遊歩道や登山道を主体に、不法投棄の收拾活動を実施するほか、エコフォーラムの開催や写真展などの啓蒙啓発活動に力を入れることにより、弘前市民の環境問題に対する意識の向上とエコ活動の浸透を図る。	500,000	500,000	500,000	458,000
二次	51.	ギネス記録も持つ!!津軽の笛が大集合! 第5回津軽笛博覧会	津軽笛地域づくり実行委員会	ねぶたや登山獅子などの津軽の笛や太鼓などのワークショップや、青森県の郷土芸能と津軽笛の共演コンサートを開催する。また、全国で唯一の生の笛コンテスト・全日本横笛コンクールの翌日に開催することで、市外からの注目度を上げるほか、津軽に伝わる文化を深く掘り下げて学ぶことで、津軽笛を愛好する人物を育成し、ねぶた等での笛指導者のレベルアップを図るとともに、観光客を呼び込むための資源として発信していく。	323,000	323,000	323,000	226,000
二次	52.	すこやかセミナーの運営	弘前芸術鑑賞会	主に高齢者が集まれる居場所づくりとすることを目的に、週3回健康やかセミナーを開催する。健康増進リーダーと連携して、健康に関する講座を行うほか、生涯学習講座では映画や押し花、物作りなどさまざまな分野にふれる機会を提供する。また、交流イベントでは、参加者から希望を取って講演会や観劇ツアーを行い、参加者同士の交流を図る。	500,000	500,000	500,000	500,000
二次	53.	SL48640号機の保存活動及びSL鉄道教室	特定非営利活動法人五能線活性化倶楽部	新里駅にて公開されているSL48640号機の大規模な改修を行う。県内外から参加者を集め、ペンキ塗り等をしていただくほか、電車やSLについて知っていただくため、子どもを対象とした鉄道教室を開催する。観光コンテンツや産業遺産として再認識していただくとともに、電車で興味を持っていただくことで、保存活動の後継者育成を考えていく。	500,000	500,000	500,000	500,000
二次	54.	国際交流事業(1)国際交流夏祭り (2)国際交流餅つきフェスティバル	桔梗野町会	町会内にある弘前大学国際交流会館に居住する留学生・弘前大学関係者と町会住民が交流を図るため、国際交流夏祭りと餅つきフェスティバルを開催する。夏祭りでは、盆踊りや留学生のスピーチ、餅つきフェスティバルでは留学生の餅つき体験、留学生による合唱・民族舞踊といった、それぞれの文化を体験しあうことで、お互いの理解を深め、親睦を深める。	130,000	130,000	130,000	130,000
二次	55.	焦点一弘前とかけて落語ととく、その団体とは一	弘前男女らくご振興協会	落語を通じて、コミュニケーションのコツを知ってもらい、人を笑わせる技術などを高めてもらう機会を創出するため、現役の断家による「落語教室」を開催する。発声練習、小咄の作り方などの内容を通して、コミュニケーションのコツを知ってもらうことで、さまざまな場面や立場での対話等に生かしてもらう。	466,000	466,000	466,000	374,000
二次	56.	全国権利擁護支援実践交流会 テーマ 人口減少時代の地域における権利擁護のしくみ	一般社団法人権利擁護あおい森ねっと	「権利擁護」に関するフォーラムの中で、全国規模で講師を招聘し、基調講演やテーマ別の分科会、グループ討議などを行う。全国や県で取組をしている団体と、地元を取組を発表し合うことで交流を図るとともに、人口減少問題を抱える弘前市に生かせる取組を探る。	500,000	500,000	500,000	500,000
三次	57.	豊田小学校通学路排雪事業	豊田小学校父母と教師の会	行政の委託業者による除排雪が追いつかないという状況の中、平成25年3月には雪ですり鉢状になった通学路で児童が怪我をする交通事故が発生した。事故の再発を防ぐため、業者による除排雪が実施されるまでの期間、PTAを主体にして地域内にある除雪機を利用し、危険箇所の排雪をピンポイントで行い、通学路の安全を確保する。	83,000	83,000	83,000	47,000
三次	58.	ゼロ・ウェイストの町を学ぶ講演会	特定非営利活動法人もったいないつがるの会	弘前市は、1人あたりのごみ排出量が多く、リサイクル率も低いことから、市民にエコやリサイクルへの関心を高めてもらうための講演会を開催する。講演会では、「ゼロ・ウェイスト運動」プロモーターを講師に招き、先進地のエコやリサイクルへの取り組みについて話を伺い、参加者には、生ごみリサイクルを実践してもらうため、牛乳パックコンポストの母材を提供し、生ごみ減量に取り組んでもらう。	291,000	291,000	291,000	259,000

三次	59.	防災・減災・地域づくり事業「第1回 自由ヶ丘町会自主防災会 避難訓練事業」	自由ヶ丘町会 自主防災会	これまで町民を対象とした「避難訓練」や「炊き出し訓練」などを一度も実施したことがないことから、自主防災会を中心とした町会住民で、避難方法・避難誘導・避難者への対応や炊き出しの仕方などを訓練を行う。災害弱者や孤立者を可能な限り、町会内で生じさせないため、要支援者の名簿を作成するなど、災害対応に努める。	488,000	488,000	488,000	385,000
三次	60.	第4回弘前城リレーマラソン冬の陣	特定非営利活動法人 スポネット弘前	積雪や寒さの影響による冬の運動不足解消のため、誰もが楽しみながら気軽に参加できるランニングイベントを開催する。短いコースや、ファンランの部の設定などでハードルを下げ、参加を促すとともに、出店の工夫など、応援者や観客にも楽しんでもらえるようなお祭り感覚のイベントを目指す。	500,000	500,000	500,000	500,000
三次	61.	「簡単な韓国語で紹介する弘前の観光と接遇」講座と、韓国文化に触れる事業	弘前韓国語勉強会	10月からの青森空港ソウル便の増便や、韓国からの観光客の増加を受けて、祭り時期などに簡単な案内が出来るようにするため、優しい韓国語と接遇を勉強する講座を開講する。また、キムチ作りやテコンドーなど語学以外の体験を通して、韓国文化への理解を深める。	153,000	153,000	153,000	149,000
三次	62.	北地区コミュニティ会議 20年の歩み（辿った足跡から未来を探る）	北地区コミュニティ会議	青少年の健全育成や地域住民の生涯学習、課題解決等を目的に活動してきた20年間の振り返りと検証をし、今後も地域に根差した活動を継続・発展させていくために冊子を作成し、各町会の毎戸に要約版を配布する。活動を総括し、その情報を共有することで、住民が地域活動に理解を深めることや、地域活動への参加につなげる。	234,000	234,000	234,000	234,000
三次	63.	20年後の扉を考えるワークショップ事業	昴町会	設立20年という節目に際し、これまでの20年を振り返り、そしてこれからの20年を考えるワークショップを開催する。ワークショップの内容や、地域住民の考えを冊子にまとめ、町会全戸だけでなく相馬地区や市内各所へ配布することで、町会の機能を再構築するとともに、昴町会の活動の意義を周知していくことを目指す。	216,000	216,000	216,000	0 ※1
三次	64.	WAのりんご ～もったりりんごを身近に～	Aプロジェクト	りんごそのものだけでなく、りんごの加工品・木や枝などを使った工芸品といった弘前のりんご産業の魅力をより市民に知ってもらうことで、りんご産業がもっと発展していくきっかけをつくるため、親子や世代で楽しみながら学ぶことができるワークショップや講座を開催する。りんごを使った料理教室やりんごの木を利用したスプーンづくりなどによって、生活にりんごを取り入れ、身近に感じてもらうことを目指す。	253,000	253,000	253,000	205,000
三次	65.	鬼槽地域「歴史と伝説の里づくり事業」	歴史と伝説の里「鬼沢の会」	鬼沢地域に伝わる「鬼伝説」や、義民・藤田民次郎の生涯を紹介し、関連史跡を散策したり、農業体験や郷土料理を試食したりするツアーを開催し、地域外に鬼沢の魅力を発信することで、地域の活力を生み出す。また、藤田民次郎についてのスライド上映の語り手を育成する研修会を開催し、地域の歴史や地域資源を後世に伝える人材を育成する。	258,000	258,000	258,000	246,000
三次	66.	雪でドトド ～五感で楽しむ祭りだじゃ～	ドトド実行委員会	雪や寒さなどのために、冬を楽しむ機会や感覚が少ない傾向があることから、弘前で学び、育った若者が中心となり、地域コミュニティを巻き込んだ「冬」を盛り上げるイベントを開催する。五感をフルに使った「食べる」「作る」「遊ぶ」活動を通して、冬ならではの魅力に気づいてもらうだけでなく、弘前で活動する作家や伝統文化、人とふれあう機会を作り、地域への愛着を形成する場を創出する。	227,000	227,000	227,000	159,000
三次	67.	ういっちたいむ!!4	ういっちたいむ!!実行委員会	地域おこしや観光コンテンツにポップカルチャーが利用されている中、興味がない、知らないという人に対して、少しでも触れる場を作るためのイベントを開催する。「音楽・郷土芸能とポップカルチャー」をテーマに、津軽笛や津軽三味線、パイプオルガンを使ってゲーム音楽に特化したライブコンサートを実施し、ポップカルチャーや郷土芸能への理解を深める。	500,000	500,000	500,000	500,000
三次	68.	全員集合！防災運動会	5-Between	地域コミュニティ活性化のため、楽しみながら地域のために学ぶことのできる防災運動会を開催する。災害時に必要なバケツを活用した消火や担架作り、人命救助などを競技とすることで、自主防災や自助、共助の必要性を感じていただき、日頃から防災意識を高めていただくきっかけとする。	146,000	146,000	146,000	130,000
三次	69.	男の介護教室	特定非営利活動法人 津軽広域救急支援機構	近年、男性が介護する側になった時に様々な問題に直面し、時には生活が大変になっているという状況を受けて、男性を対象とした介護教室を開催する。先進地他、市内各関係機関等に講師を依頼し、実習や体験を行うことで、男性が安心して介護できるよう、地域での在宅介護のモデル形成を図る。	500,000	500,000	500,000	500,000
合 計					24,757,000	24,757,000	24,757,000	22,751,000

※1 事業廃止

申請事業82事業 24,757千円
採択事業69事業 24,757千円
交付確定事業69事業 22,751千円